

数字がなぜ身につかないのか？

経営者が数字に強くなる唯一の方法とは？

オリジナルゲームソフトで楽しみながら学ぶ

中小企業の経営者のための！



# 戦略社長養成講座

…利益とキャッシュのシミュレーション能力を高めることのみに重点を置いた勉強会です。

とにかく体験を重視したワークばかりの勉強会ですので寝ている暇はまったくありません。

それどころか、数字の勉強会ではありえない、『時間が短く感じる』ことをお約束します。

あなたは、いつまで『自分は数字に弱い』と言い訳をしていきますか？

経営者は一生数字から逃げることができません。



## 戦略社長養成講座の5大特徴



1. 経営を疑似体験することができる
2. 数字の勉強なのに楽しい
3. 簿記は一切出てこない（経営者に簿記は必要ありません）
4. 財務分析も出てこない（必要なのは自己資本比率くらいです）
5. 受講後、自社のどこに手をつければよいかがわかる

経営者に必要な数字のスキルは、ズバリ、シミュレーション。  
利益とキャッシュのシミュレーション能力それだけなのです。

体験型のゲームで『数字に弱い』から今年こそ脱却してください。ご参加お待ちしております。

日程 2013年3月23日(土) 9時30分～15時30分

受講料 顧問先：無料  
一般：20,000円 ※その他詳細については裏面でご確認ください。

お申し込みは下記にて

**FAX 参加申込書**  
24時間受付ています。

**FAX:06-6265-1520**

フリガナ

フリガナ

貴社名：

お名前：

役職：

ご住所：

携帯メール：

@docomo.ne.jp @i.softbank.jp  
@ezweb.ne.jp @

PCメール：

@

TEL:( ) -

Fax:( ) -



GPC-Tax 船場総合会計事務所

Good Philosophy for Client-Tax

Tel : 0120-466-955

Mail : [info@gpc-senba.jp](mailto:info@gpc-senba.jp) (受付担当：村上)

<http://www.gpc-senba.jp/>

経営を疑似体験し、社長力を身につけ、  
会社を黒字体質にする！！

■カリキュラム

・第1講座【午前の部】

「利益と貯金残高は連動しない」を理解。

第1講座では、損益分岐点の使い方を体感していただきます。どれだけ売上を上げれば、利益ができるか自分で体感していただき、経営シミュレーション基礎を学びます。さらに、数値とグラフの動きでキャッシュフローの仕組みを理解し、要は最終の利益と預金残高は連動しないということを理解していただきたいのですが、これがなかなか理解してもらえません。「利益が出る=お金が増えている」と思っていますが、会計では利益が出るのと、キャッシュが増えるのは別物です。損益分岐点と、キャッシュフローを理解していただくのが第1講座です。

戦略社長養成講座

・第2講座【午後の部】

実践！会社経営を体験！  
永続的に利益を上げる。

第2講座は、会社経営をゲームで体験します。資本金1,000万円、役員報酬33万円、粗利益率25%の会社をゲームで経営してもらいます。社員の事故や売掛金の貸倒れなどの苦難を乗り越えて、5期経営して役員の個人資産を1億円を目指して受講生が競争します。会社を発展させながら、経営者自身のハッピーリタイヤを疑似体験するのが第2講座です。

2013年3月23日(土)

9時30分～15時30分（途中お昼休憩をはさみます。）

※講座終了後には、懇親会（実費4,000円程度）を予定しております。

■日程

GPC-Tax船場総合会計事務所

大阪市中央区船場中央1-4-3 船場センタービル3号館2F

※地下鉄堺筋本町駅直結（大阪市税事務所前）

■会場

■セミナー対象

経営者・経営幹部

■人数

定員10名

■持参物

電卓・筆記用具

■受講料

顧問先：無料  
一般：20,000円



受講料返金保証

ご満足頂けない場合は、全額返金いたします！

会計本などが巷にあふれていますが、いまだにほとんどの中小企業経営者が、数字に弱いと悩んでいるのが現状です。なぜ、こんなにも勉強しているのに、数字に強くならないのでしょうか？

それは、その勉強に「体験」が伴っていないからなんですね。

我々日本人が、中・高・大で10年間も勉強した英語をしゃべれない理由と全く同じなのです。

ベテラン経営者は、座学で勉強をしていないにも関わらず、多くの失敗を繰り返しながら肌で数字を感じ、体験・経験として数字を体に染み込ませているのです。

それでは、経験が少ない経営者や、失敗をする前に数字を叩き込みたい経営者はどうやって数字に強くなればよいのでしょうか？これには、経営を疑似体験するしかありません。

失敗の経験は、できれば実社会ではなく、疑似体験でしておく方が良いに決まっています。

失敗はもちろん貴重な経験ではあります、数字に弱いことでの失敗は、

授業料を払ったと笑えるレベルの失敗では済まない可能性があるからです。



GPC-Tax 船場総合会計事務所

Good Philosophy for Client-Tax

Tel : 0120-466-955

Mail : [info@gpc-senba.jp](mailto:info@gpc-senba.jp) (受付担当: 村上)

<http://www.gpc-senba.jp/>